

劇映画「いのちの山河」撮影開始



深澤村長の命日・1月28日に東京で「いのちの山河」の製作発表をする左から監督の大島豊、主役の長谷川初範の各氏。

21日は町民参加で クライマックスシーン

昭和30年代に深澤村長のもと、村民総ぐるみで推進した生命行政を再現する劇映画「いのちの山河」の撮影が始まります。2月・3月の積雪期と5月に撮影が予定されています。このうち、2月21日には西和賀町民300人以上のエキストラ参加を得て、映画のクライマックス「深澤村長 無言の帰村」

を村人たちが出迎えるシーンのロケが沢内の新山で行われます。現在参加希望者を募っています。当時の衣装(ケット、外套など)があれば持参してほしいと呼びかけています。

映画作りの本格的なロケ現場を見学・体験する機会はそのようなことです。21日のロケには近隣知人お誘いあわせてのご参加をお勧めします。詳しくは関係サイドの指示によってください。

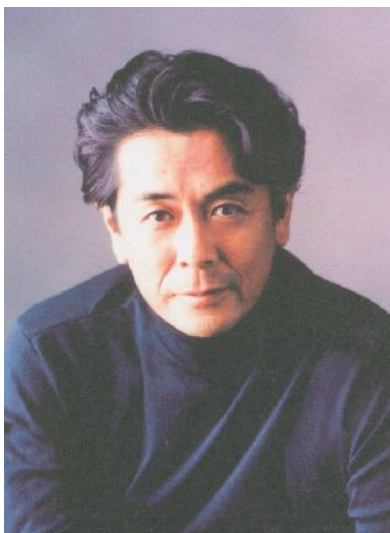
「おしん」の名優 小林綾子も出演

主役で深澤村長役には長谷川初範、ミキ夫人はNHKの朝ドラ「どんど晴れ」

に喘息の子をもつ母親役で出演したとよた真帆、佐々木吉男助役は宍戸開が演じるほか、「おしん」で国民的アイドルとなった小林綾子や加藤剛など豪華な顔ぶれをそろえています。

資料館で入念に 深澤の役づくり

主役の長谷川初範は1月27日、深澤晟雄資料館を訪れ、深澤村長の人物像など役づくりのための取材活動を行いました。資料館に揭示してある深澤村長の写真を見て「教育長時代より村長時代の表情は厳しいですね」などと印象を語っていました。また、当時教育長だ



主演の深澤村長役・長谷川初範

った本会の
太田祖電理
事長とも会
つて当時の
お話を聴く
など念入り
に役柄をチ
ェックして
いました。

「いのちの作法」 キネ旬ランク4位



映画雑誌「キネマ旬報」が選出する第82回キネマ旬報ベストテンの文化映画部門に、西和賀町を舞台にした「いのちの作法」沢内『生命行政』を継ぐ者たちが4位に入りました。同ベストテンは、その年を代表する日本映画と外国映画を各十本挙げ、文化映画作品賞など多数の賞を設け、優秀な作品・映画人を選出しています。「キネ旬ランク」とも呼ばれる権威ある映画

作品賞です。

平成二十一年の文化映画部門の四位に選ばれた「いのちの作法」は、日本映画学校を卒業した北上市出身の都鳥拓也さん、伸也さんの双子の兄弟がプロデュース、記録映画の第一人者小

池征人さんが監督した作品で、二十年一月から全国各地で上映されています。



「ぴあ」の満足度 ランキング1位

雑誌「ぴあ」調査による昨年11月29日公開の映画の満足度ランキングでは、「いのちの作法」がトップに輝きました。

「幅広い世代が『生きる』ことに真剣に向き合い、町全体で考える姿に感動した」「高い志を持った村長は亡くなったが、その精神が若

い人に受け継がれている様 記録映画「いのちの作法」に感動」「今後の『老人は昨年1月の公開以来、すでに全国85か所で上映され、観客数も2万3000人を超品』など、上映後は観客から感動のコメントが次々と【写真はいずれも『いのちの作法』の一場面から】

上映会のご案内

「いのちの作法」2月中旬から3月上旬の一般を対象とする上映会のご案内です。
▼2月7日～13日／大阪市第七藝術劇場 ▼2月14日～20日／神戸アートビレッジセンター ▼2月15日14時30分／北海道浦河町ふれあい会館・コミュニティカレッジ ▼2月22日14時／八幡平市西根地区市民センター ▼3月8日14時／福岡県上毛町げんきの杜

深澤晟雄資料館は1月から3月末日まで休館しますが、予約を受けて開館しています。1月の開館日数は10日間です。入館者は101人を数えました。北は北海道から南は宮崎県におよび、町民の入館者は28人でした。

7日・8日は雪灯り協賛開館

1月は10日間で入館者101人

予約は電話85-38838で受付けております。なお、2月7日、8日は雪灯りのイベントに協賛して午前9時から午後5時まで開館します。雪国の一日を幻想的な雪灯りとともに、じっくりと『命をみつめて』みませんか。